

「平成 29 年度青果物輸出特別支援事業」の実績報告(2018 年 11 月)

【タイ国出張活動実績】

日程 平成30年11月15日 ~ 平成30年11月20日 計6日間

出張者	会社名	役職	氏名
	株式会社フルーツむらはた	代表取締役社長	村端一男

日程	場所	内容
15日(木)	小松⇒羽田 ⇒バンコク	JAL JL182 小松 07:40 ⇒ 08:45 羽田 JAL JL031 羽田 11:20 ⇒ 16:20 バンコク
16日(金)	バンコク	10:00 トンロー日本市場(J-Value) 14:00 ダイショービジネスマッチングに出席
17日(土)	バンコク	10:00 ダイショー冷蔵倉庫にて商品管理方法を視察 15:00 トンロー日本市場(J-Value)
18日(日)	バンコク	デパート等視察 サイアムパラゴン セントラルイーストビレッジ セントラルワールド セントラルウエストゲート エンポリウム エムクオティエ フジスーパー1号店
19日(月)	バンコク⇒羽田	11:00 伊勢丹バンコク店 JAL JL034 バンコク 22:05 ⇒ 05:40 羽田(20日)
20日(火)	羽田⇒小松	JAL JL183 羽田 07:55 ⇒ 09:00 小松



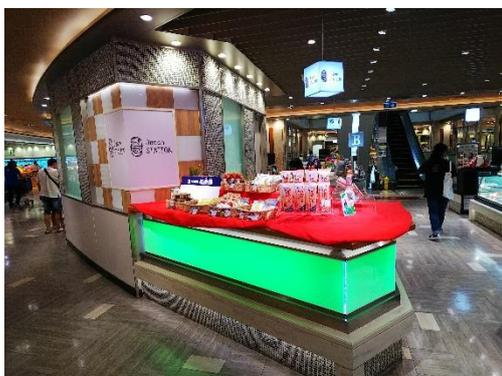
トンロー日本市場外観と12月の販売予定場所



ダイショー冷蔵倉庫内での作業の様子

訪問先と活動内容

訪問先	目的及び今後の対応
トンロー日本市場	2018年10月よりトンロー日本市場における国産フルーツのギフト需要を取り込むために「フルーツむらはた」コーナーの設置を12月1日より開始するための打合せを行った。ギフトセットの内容や設置場所の確認、輸出スケジュールを2日間にわたり行った。
ダイショービジネスマッチング	日系食品商社であるDaisho (Thailand) Co., Ltd.主催の商談会に参加。目的はタイ食品大手のOISHIグループの元顧問であるSurasak Ongartthaworn氏の講演『異文化で成功するには』。日本食の展開に重要な情報収集を行った。
ダイショー冷蔵倉庫	林檎をはじめ多くの国産フルーツを輸入しているDaisho (Thailand) Co., Ltd.の冷蔵倉庫を視察し、現地のローカルスタッフがどのような基準で選果や検品を行っているのか視察を行った。痛みではないフルーツを廃棄する場面もみられ、今後産地との交渉や現地での販売方法等研鑽する必要を発見した。
デパート等視察	主要高級デパートでの業者の参入状況、販売品目、販売価格を調査した。中心部の高級店でしか取扱いがなかった国産の苺も、郊外の高級店で販売されていた。郊外店では高い販売能力のあるセントラルイーストビレッジのフードコートにて撮影を行った。
伊勢丹バンコク店	2010年より毎年行われる年末ギフトシーズンへの出店の打合せを行う。今年度のフェア期間は2018年11月29日より2019年1月6日の日程で開催し、フェア終了後も常設展として販売を継続する旨合意した。商品は国産フルーツギフトと国産フルーツのみを使用した株式会社角南製造所(岡山県)製造のゼリー、ジャム等の関連商品。



伊勢丹バンコク店 5 階の「フルーツむらはた」コーナー設置予定場所



セントラルイーストビレッジ店